

# 1. 調査報告概要表

作成日平成 20年 3月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 2 4 2 4 3
法人名	株式会社 広の島
事業所名	グループホーム古の市
所在地	広島県広島市安佐南区古市3 - 5 - 3 (電 話) 082 - 877 - 1413
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年3月18日

## 【情報提供票より】(平成20年 3月 3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日
ユニット数	ユニット 利用定員数計 7 人
職員数	9 人 常勤 6 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.2

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り 10 階建ての 2 階 ~ 階部分
------	----------------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり		600 円	

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	名	男性	0 名	女性	7 名	
要介護1	1	名	要介護2	4	名	
要介護3	2	名	要介護4	0	名	
要介護5	0	名	要支援2	0	名	
年齢	平均	86 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	舟木病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

都会地の中にあるマンションを改造して作られた施設である。中に入るとマンションに住む普通の家庭の雰囲気を迎えられた。入居者は落ち着いた様子でそれぞれの思いを表現しておられる。個室が七つで人数が少ないのが特徴になっているがそれが却って家庭的な雰囲気になっているようである。職員と入居者はお互いに信頼しあっている様子がよく汲み取れた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	請求時に最近の生活状況のメモや写真を一緒に送付するなど外部評価の意見を取り入れた改善がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価調査員に対しては管理者だけでなく職員も真摯に対応され、このホームをよりよいものにするための姿勢を感じた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	利用者代表や地域包括支援センターの人等と開催しておられるがこれに地域で福祉関係のボランティアをされている人(高齢者の集いなど)などを入れて地域の中でのグループホームとなるよう活動されることを期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営委員会や家族訪問のときに意見を聞いて介護計画などに反映しておられる。また、家族へは請求時に生活状況の報告もある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	都会地の中のマンション内にあるグループホームであり地域との結びつきはやや薄いと感じるがこれから地域の高齢者のつどいに参加されるなど地域の高齢者と出会う機会を増やすことにより連携は深まると期待する。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心のバリアフリーという高い理念をかかげ、それを生活の中で活かせるように努めておられる。		理念を玄関などに掲示し、家族など訪問される人たちに知ってもらえるようにされるとよい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を職員には 利用者さんがおちついて生活できると仕事の取り組み姿勢を指導しておられる。		職員は理念としてよりは仕事の仕方として理解しており、これがこのホームの理念であるところまで職員と一緒に共有されることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者は町内会の班長をしておられる。入居者は買い物や回覧板を回したりして出合った時は挨拶ができています。		地域の高齢者のサロンへの参加など地域との付き合いを深められることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	請求時に生活状況を知らせたりその写真を送るよう取り組まれている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は利用者代表、地域包括と行政からの出席で2ヶ月に一回行なわれている。		地域で福祉関係のボランティアをされている人も委員にされるとよい。

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	認定申請のときに担当者と話し合っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回(請求時)写真と生活の様子を知らせている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議のときや面会に来られたときに意見を聞いている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	居宅ヘルパーへ異動がある。退職は年に一人ぐらいである。		利用者がおちついて生活できる の実践を職員に指導し馴染めるように取り組んでいる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	利用者がおちついて生活できる を実践で取り組んでおられ、利用者と職員のよい関係を作られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くのグループホームとの交流はないが特別養護ホームなどの同業者との交流はある。		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>地域密着としての取り組みは地域にいるときから施設を知り、自宅生活ができなくなったときにいける場所があることが求められる。</p>		<p>居宅サービスを行なっておられるのでそれと連携した地域密着サービスを期待する。また、地域サロンに参加などの入居者と地域の人の交流が考えられる。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者はこのホームが自分の生活する場所と感じておられるようであり、自分でできることを職員と一緒にこなっておられる。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の意向は職員がすぐに反応するように努めておられる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアマネージャーが介護計画を作成しているがそのとき職員と相談をしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に一度の見直しをしておられる。</p>		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	居宅担当の人がホームでの仕事を一緒にしておられ、職員は相互に交流がある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を契約しておられ、定期的に診察に連れて行っておられる。また、緊急のときは時間外でも相談ができています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に向けての相談を家族としておられる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者の立場をよく理解しており、プライバシーに配慮した取り組みをしておられる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者は共用場所に居られるがそれぞれ自分の思いで過しておられる。		

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お代わり ができる食事で一人ひとりの要望に応えられている。なお、この お代わり が食事を楽しい時間になっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日を指定しているが入れないときは翌日に入れるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理をしている人、編み物をしている人、職員と話をしている人とそれぞれに自分を生かした生活ができるようにしておられる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	都会の中でのホームであり、買い物や回覧板を持っていくぐらいの外出となっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	部屋、玄関には鍵はかかっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に二回職員参加の訓練を行っている。		歩ける人には職員と一緒に階段を歩いて出る訓練もあってもよい。(ただし無理のないように)

グループホーム古の市

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日誌に毎日の食事内容と摂取量がきちんと記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	普通の家庭の共用空間として作られており、とても落ち着いた雰囲気である。テレビの音もちょうどよい。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていたものが持込まれるようになっている。		